

受領 令和8年5月28日 10時45分

通告番号(2)1/3

令和8年5月28日

読谷村議会
議長 上地 利枝子 殿

読谷村議会議員
長 濱 宗 則 印

一般質問通告書

第553回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>家庭で過ごす時間や校外学習のため、子どもが平日でも学校休める「ラーケーション」が県内自治体で広がっている。</p> <p>1 ラーケーションの導入について</p> <p>(1) ラーケーションの基本的な考え方について村の見解を問う。</p> <p>(2) 他の自治体の導入実例や制度設計を調査・研究しているか問う。</p> <p>(3) ラーケーションのメリットや課題に対する認識はあるか問う。</p> <p>(4) 導入に向けた検討をされているか問う。</p>	
<p>内閣府が沖縄の子どもたちの国際理解及び外国語取得への感心の高まりを目指して始まった「沖縄国際交流体験促進事業にまちなか留学は沖縄本島に住む外国人のお家で週末に英語のホームステイが開催されている。現在、81カ国の外国人が参加している。英語を楽しく学べるだけでなく、多様な異文化に触れることで、グローバル人材の育成や英語・異文化の興味関心の向上に役立つ事業が実施されております。</p> <p>2 まちなか留学から</p> <p>(1) まちなか留学について教育委員会としての見解を問う。</p> <p>(2) 村内小中校んの参加数把握されているか問う。</p> <p>(3) 読谷村が実施している海外ホームステイ事業をまちなか留学にシフトできないか</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>環境保全から</p> <p>経済成長や都市化の進展に伴い、世界中で廃棄物の発生量は増加の一途をたどっています。大量生産、大量消費型の社会構造は、廃棄物を増やす要因となった。消費のライフサイクルが短くなり、使い捨て文化が定着し、ごみの排出量が飛躍的に増加しています。またグローバル化に伴い、物資や商品の流通量が世界的に拡大し、その結果包装材や輸送用の包囲素材などで、廃棄物の種類や量も多様化しています。さらに、近年では自然災害の激甚化や新型感染症の流行より、医療廃棄物、災害ごみ増加も社会問題となっています。従来型の廃棄→処分から「リデュース(排出抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源)(3R)やサーキュラーエコノミー(循環型経済)への転換が求められる時代です。</p> <p>3 沖縄県では5月30日(ゴミゼロの日)から6月30日(環境の日)がゴミ減量・リサイクル推進週間が実施されます。</p> <p>(1) 読谷村としてのゴミ減量・リサイクル推進週間の取り組みは。</p> <p>(2) 読谷村の可燃ゴミ過去3年分の焼却処理量と村民一人当たり排出量を問う。</p> <p>(3) 読谷村の過去3年のリサイクル率を問う。</p> <p>(4) 中東情勢の悪化で家庭用指定ゴミ袋が不足しているとの懸念があるが読谷村では供給に支障はないか。</p> <p>(5) ジモティー活用してリユースの推進拡大できないか。</p>	
<p>4 読谷村旅券発給から</p> <p>外務省は「旅券法の一部改正及び旅券法施行令の一部改正により、新しい旅券手数料の額が令和8年7月1日から変わります。旅券申請で窓口は混雑が予想されます。</p> <p>(1) 主な新しい手数料を伺います。</p> <p>(2) 申請が受理された日からり旅券が交付される期間は、</p> <p>(3) 読谷村で交付された過去3年分の件数(10年用、5年用)</p> <p>(4) 電子申請と窓口申請の割合は。</p> <p>(5) 別の市町村で申請したい場合の追加提出書類は。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>5 読谷村の在留外国人数から</p> <p>(1) 令和8年3月末で在留外国人数と割合を伺う。</p> <p>(2) 令和8年3月末で国籍別内訳は。</p> <p>(3) 在留外国人の在留資格別内訳は。</p>	
<p>6 令和元年度から都道府県及び市町村に森林環境譲与税について</p> <p>(1) 森林環境譲与税の趣旨は。</p> <p>(2) 令和7年度の使途について問う。</p> <p>(3) 令和8年度の使途予定を問う。</p>	
<p>7 読谷村農業振興地域整備計画変更について</p> <p>(1) 全体見直しの概要を問う</p> <p>(2) 農業振興地域整備計画変更で読谷村の農業振興に活性を見出せか。</p>	